



新しい伝統を創る

校長 早川 修一

10月に入ってから、校内のいろいろなところから音楽が聞こえてくるようになってきました。向山小で今年初めて実施する音楽会、その新しい伝統を創るため、子供たちは一生懸命練習に励んでいます。音楽会は音楽の授業で学んだことの発表ですので、音楽の学習内容を少し知っていただくと音楽会もより楽しめるものになると思いますので、紹介させていただきます。

音楽の授業ではどんなことを学んでいるかという点、①曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。②表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。③音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつ。④曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴く。⑤主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わう。⑥様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。大きくくりにすると、この6つになります。

音楽には、表現と鑑賞の二つの領域があり、さらに表現には歌唱、器楽、音楽づくりの三領域があります。「音楽づくり」は聞き慣れないと思いますが、十数年前まで「創作」といっていた領域で、「児童が自らの感性や創造性を働かせながら自分にとっての価値のある音や音楽をつくる活動」です。ただし、音楽の授業の中では、表現と鑑賞は常に関連させながら学習を進めますし、表現の三領域もお互いに関係づけて学習することがあります。鑑賞では、「音楽から感じ取ったことを、言葉や体の動きで表して伝え合うなどの活動」も含まれます。

音楽会で大事なことは、子供たち一人一人が主体的に音楽に関わり、それぞれが自分の思いや意図（このように表現したいという自分なりの考えや願いなど）をもって表現することです。学年で一つのものを作り上げるので個々の表現が伝わりにくい部分もありますが、発表の工夫の中で伝えられる場面をできるだけ多く作っているところです。また、音楽の授業のねらいは、完成度の高い音楽を創ることが第一義ではありません。たとえ演奏が拙くても、子供たちが音や音楽への思いや意図を自ら表現しようとすることに大きな価値があります。音楽会の時には、ぜひ子供たちの今まで授業の中で取り組んできた過程や様子も思い浮かべていただきながら聴いてください。

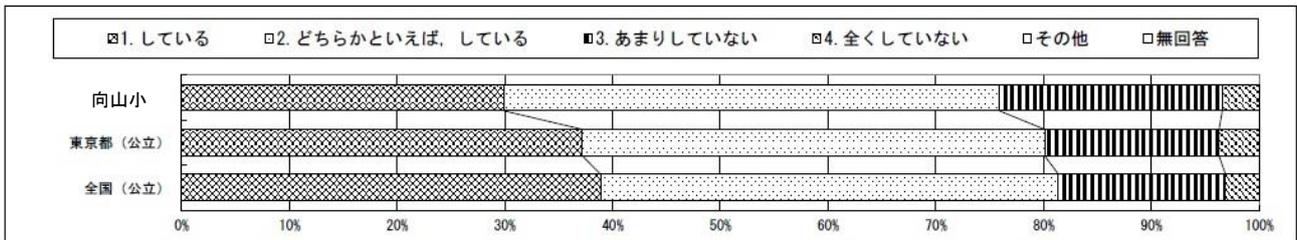
さあ、あと3週間後に、子供たちが向山小のどんな新しい伝統を創り出してくれるか、私も楽しみにしています。

令和元年度全国学力・学習状況調査結果（6年生）のお知らせ（2）

10月号に引き続き、1学期に行われた学力・学習状況調査の結果をお知らせします。10月号では、主に学習面についてお知らせしました。今回は、意識調査の結果から、生活リズムと自己肯定感に関する「気がかりなこと」についてお知らせします。

[生活リズムについて]

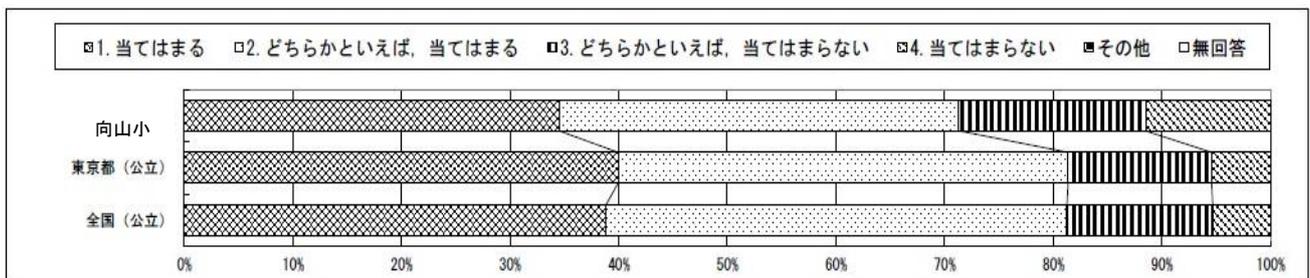
「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」という問いに対して、「している」「どちらかといえば、している」と答えた子供は、8割を下回り、都や全国と比べて低い値になっています。



早寝早起きに代表される「生活リズムを整える」ことは、子供の成長にとって重要です。例えば、「就寝時間が遅い子供ほど、自分のことが好きと回答する割合が低く、何でもないのでイライラすることがあると回答する割合が高い」「学校がある日とない日で起床時刻が2時間以上ずれる子供ほど午前中の授業に眠くて仕方がない子供が多い」ことなどが報告されています。（文科省「睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査の結果」平成26年）

[自己肯定感について]

「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた子供が、約7割です。この数字は、都や全国と比べて低くなっています。



自己肯定感については、3年前より学校の課題として手立てを講じてきました。例えば、たてわり班活動では、高学年を中心に自分の役割を果たす達成感を感じられるように留意しました。また、教員の研修会を行い、自己肯定感を高める指導について考え合い、日常の生活でも子供が自分自身の「よいところ」に気付くような指導を心がけてきました。さらに今年度は、校内研究のテーマとして学級活動を取り上げました。学級活動は、学級会（話し合い）や係活動などで、「自分は役に立っている」という経験を積み重ねることができる大切な場です。今年のはじめの段階では、上記のような結果が出ていますが、今後の変化に期待しています。

子供が、適切な自己肯定感をもつためには、「大きすぎる目標ではなく小さな目標を連続的に設定すること」「結果だけを評価するのではなく（努力した）過程を認め評価すること」が大切です。また、「先生がよいところを認めてくれる」「家の人にほめられる」と感じている子供ほど自己肯定感が高いことが明らかになっています。

これらのことに一層留意して指導に当たっていきます。ご家庭でも、今月号の内容を参考にいただければ幸いです。

令和元年度体力・運動能力調査の結果のお知らせ

[合計点の比較]

6月実施	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本校	32.2	33.4	36.8	37.6	42.4	44.4	46.9	49.7	54.0	56.2	57.9	59.6
練馬	29.4	29.2	36.7	36.8	42.6	42.9	48.3	49.4	54.3	55.5	59.2	61.3
東京	29.4	29.3	37.0	37.2	43.2	43.6	48.9	50.0	54.2	55.9	59.6	61.1
全国	30.4	30.2	37.9	37.8	44.8	44.4	50.3	50.9	55.6	57.1	61.5	62.1

上の表の数値は、今年度の向山小学校の児童の体力・運動能力調査の結果を示したものです。調査では、8つの種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ）の記録を点数化し、合計しました。点数が高いほど、体力・運動能力が高いということになります。本校の場合は、

- ①男子の合計得点は、1年生は、全国、東京、練馬区平均と比べて、上回っています。
- ②女子の合計得点は、1、2、3、5年生は、東京、練馬区平均と比べて、上回っています。

[測定種目別に見た体力の傾向]

	男子		女子	
	高い傾向	低い傾向	高い傾向	低い傾向
1年	握力、上体起こし、 長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 ソフトボール投げ	50m走、立ち幅跳び	握力、上体起こし、 長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 ソフトボール投げ	50m走、立ち幅跳び、
2年	握力、上体起こし、 長座体前屈、反復横跳び、	20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ	握力、上体起こし、 長座体前屈、反復横跳び、 50m走、	20mシャトルラン、 ソフトボール投げ、 立ち幅跳び、
3年	握力、上体起こし、 50m走、20mシャトル ラン	長座体前屈、反復横跳び、 立ち幅跳び、ソフトボール 投げ	握力、上体起こし、 20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、	長座体前屈、反復横跳び、 ソフトボール投げ
4年	握力、50m走、	上体起こし、長座体前屈、 反復横跳び、20mシャト ルラン、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ	握力、上体起こし、 ソフトボール投げ	長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、
5年	握力、上体起こし、	長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ	握力、上体起こし、 20mシャトルラン、 ソフトボール投げ	長座体前屈、反復横跳び、 50m走、立ち幅跳び、
6年	握力、上体起こし、	長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ	握力、上体起こし、 ソフトボール投げ	長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、

本校では、今後も体力向上のために、体育指導や体育的活動（マラソン週間、縄跳びなど）の充実について見直し、運動の方法や楽しさを伝えていきます。また、それぞれの学年で体力・運動能力面の傾向を把握し、今後の取り組みに反映させていきます。運動の日常化に向けては、休み時間の外遊びの奨励、体力向上につながる遊び方の紹介なども行っていきます。

心身ともに健やかな成長のために、体力の必要性をご理解いただき、ご家庭でも子供たちが体を動かす機会、時間を作っていただきますようお願いいたします。また、体力向上は健康的な生活があって成り立っています。毎日のバランスのよい食事、十分な睡眠を心がけていただき、規則正しい生活習慣を子供たちに身に付けさせてくださいますよう、お願いいたします。

11月行事予定

- 1日(金) 長なわ集会 公園探検1年
2日(土) 向山町会運動会
3日(日) 文化の日
4日(月) 振替休日
5日(火) 安全指導日
6日(水) 月曜時間割 水曜時程 委員会活動
7日(木) 特別時程
8日(金) 音楽朝会 避難訓練
9日(土) 土曜授業日 学校評議員会
11日(月) クラブ活動 学校徴収金引落日
12日(火) 社会科見学5年
13日(水) 練馬産キャベツ給食
14日(木) 学校公開 ハッピータイム
情報モラル講習会5年・保護者対象
薬物乱用防止教室6年
本の探検ラリー4年
オリパラ体育支援授業3年
15日(金) 下水道出前授業4年
16日(土) サタデースクール
18日(月) 代表委員会あいさつ劇
19日(火) お米の学校5年
20日(水) 研究授業(5年1組以外は4時間授業)
21日(木) 音楽会リハーサル
22日(金) 音楽会(児童鑑賞日)
23日(土) 音楽会(保護者鑑賞日)
土曜授業日 給食あり 勤労感謝の日
「ひろば・学童」なし
24日(日) 第三地区ユニバーサルスポーツ体験会
25日(月) 振替休業日
27日(水) 特別時程4時間授業
28日(木) 就学時健診 特別時程4時間授業
「ひろば」なし
29日(金) クリーン運動 特別時程4時間授業
30日(土) サタデースクール
<12月行事予定>
2日(月) 安全指導日 委員会活動
練馬大根給食
3日(火) 体育朝会 マラソン週間始
4日(水) 避難訓練

10月分の学校公開について

台風のために10月12日(土)が臨時休校となりました。防災訓練は多くの関係機関と連携して行う訓練のため、残念ながら今年度は「中止」となります。また、10月分の学校公開ですが、こちらについても改めての実施はいたしません。今後の土曜授業日や学年行事等、ご都合のよろしい時に、いつでも学校に足をお運びください。

◆生活目標

「力を合わせて仕事をやりぬこう」

◆あいさつ目標

「『いただきます』『ごちそうさま』は感謝の心で」

◆保健目標

「姿勢を正しくしよう」

◆給食目標

「食卓作りを工夫しましょう」

音楽会

11月22日(金)・23日(土)に本校では初めての校内音楽会が行われます。

9月より授業内での練習を始めました。教師に教わるだけでなく、子供たち同士で表現の仕方を考えたり、教え合ったりしながら練習に取り組みました。

音楽会を通じて、子供たちが音楽を表現することの楽しさに気づき、力を合わせて素敵なハーモニーを奏でることの素晴らしさを感じることができるよう指導していきます。

学芸的行事委員会

学年の窓 ～6年生～

2回目の移動教室。昨年度学んだことを生かし、時間を意識して行動することができました。

3泊4日の集団生活では、いつもより一人一人が周りのことを考え、自分の役割に責任をもたなければいけません。子供たちは、「自分たちで考える」「行動に表す」ことをめあてに、全力で考え、友達と協力して楽しんでいました。

シャボテン公園や海中水族館での班行動、黒船乗船やアジの開き、釣りなどの普段なかなかできない貴重な体験をしました。また、磯で見つけた生き物たちに目を輝かせ、ハイキングで見た下田の海の絶景に歓声を上げていました。美しい弓ヶ浜で、サンドアートをしながらはしゃぐ子供たちの姿も印象的です。

宿泊施設では、行動に余裕が見られ、生活班ごとに満喫していました。

幸いにも、4日間すべて天候に恵まれ、下田の自然と歴史をたっぷり感じることができました。仲間を思う気持ちやお世話になった人への感謝の気持ちを行動に表そうとしたことは、卒業までのこれからの学校生活でも大切にしてほしいことです。88人が互いに支え合い、ますます成長していけるよう、今後もしっかりと見守っていきます。

6年担任